

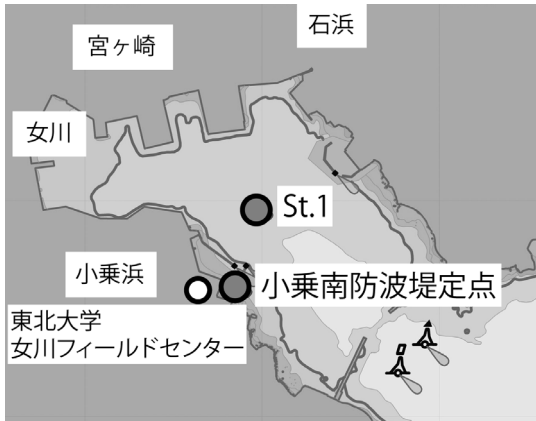
週刊 女川湾海況速報 (No.11)

発行：東北大学女川フィールドセンター

東北大学マリナインス復興支援室

9 月 24 日から 28 日の小乗南防波堤定点と St.1 の海洋観測情報

観測点



小乗南防波堤定点の結果

①水温・塩分：水温、塩分はともに鉛直的にほぼ同様。経時的には両者とも下降傾向。外洋水の影響が弱まったと推定。

水深 [m]	9月24日 (月)	9月25日 (火)	9月26日 (水)	9月27日 (木)	9月28日 (金)
0	23.1 (33.6)	23.1 (33.6)	23.1 (33.6)	23.0 (33.6)	22.7 (33.5)
5	23.2 (33.6)	23.1 (33.6)	23.0 (33.6)	23.0 (33.6)	22.7 (33.5)

水温の単位は℃。カッコ内の塩分の単位はパーミル（千分率）。1パーミル = 1PSU（実用塩分単位）。

②濁度：先週と比べ、特に表層（0m）で上昇。鉛直的には水深とともに上昇傾向。24日と28日に全層で顕著な上昇。

水深 [m]	9月24日 (月)	9月25日 (火)	9月26日 (水)	9月27日 (木)	9月28日 (金)
0	2.8	2.4	1.5	1.5	3.0
5	4.7	2.9	2.7	1.7	5.0

（単位は FTU）

③溶存酸素：先週に引き続き、6mg/l 台を維持。鉛直的にはほぼ同様。

水深 [m]	9月24日 (月)	9月25日 (火)	9月26日 (水)	9月27日 (木)	9月28日 (金)
0	6.8	6.7	6.4	6.9	6.5
5	6.7	6.8	6.3	6.9	6.5

単位は mg/l。水産用水基準（水産動植物が正常に生息および繁殖ができる値）：4.3mg/l 以上。

St.1 の結果

水温、塩分はともに鉛直的にほぼ同様。濁度は 1.5～2.2FTU、水深 5m で最大。溶存酸素は 6.1～6.7mg/l、底層（水深 19m）で最小。

9 月 26 日

水深 [m]	水温 [℃]	塩分 [パーミル]	濁度 [FTU]	溶存酸素 [mg/l]
0	23.1	33.6	1.5	6.7
5	23.0	33.6	2.2	6.5
10	23.0	33.7	1.8	6.7
15	23.1	33.7	1.5	6.7
19	23.0	33.7	1.8	6.1

本データの利用については、
東北大学マリナインス復興支援室

Tel.: 022-717-8827

Fax: 022-717-8828

E-mail:

agr-marin@bureau.tohoku.ac.jp

までお問い合わせください。